

MaaSを巡る動きは活発化 ～注目される巨大なビジネスチャンス～

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

ライドシェアリングや自動運転タクシーといった、自動運転技術などを活用した新しい移動・輸送サービスであるMaaS(Mobility as a Service: マース)を巡る動きが活発化しています。MaaSへの注力を既に発表しているトヨタ自動車やGM、ダイムラーなどに続き、8月にはフォルクスワーゲンが自動車メーカーからモビリティサービス事業者への転身を宣言するなど、世界の主要自動車メーカーのほとんどがMaaSに注力する方針を打ち出しています。その後も、トヨタ自動車とソフトバンクがモビリティサービス事業などでの戦略的提携で合意し、年度内に共同出資会社を設立するとの発表や、MaaSの要となる自動運転技術の開発で注目を集めるテスラの市場予想を上回る好決算など、MaaS関連のニュースが次々と報じられており、今後、新たな技術開発やサービスの実用化、収益拡大が期待されます。

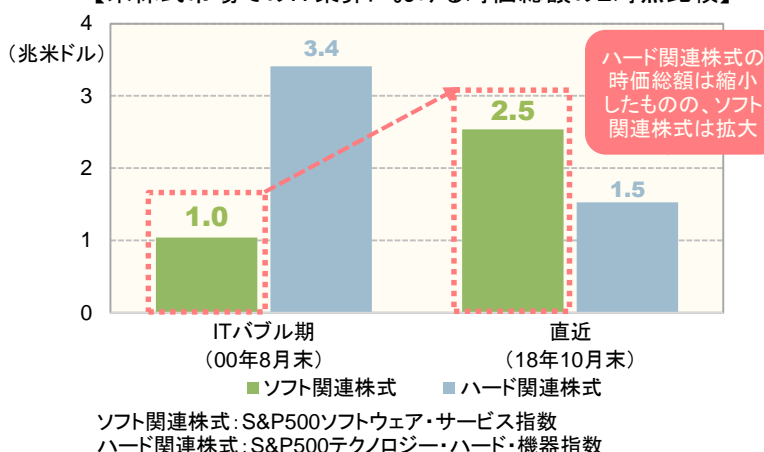
ヒトやモノの移動は実体経済の動きすべてに関わるため、MaaSは私たちの生活を一変させる可能性を秘めており、巨大なビジネスチャンスが広がっているとして、幅広い産業から注目が集まっています。また、中国や日米欧各国などでは、規制が足かせとならないように自動運転関連の法整備が急ピッチで進められているなど、今後、MaaS関連の開発・普及は官民一体で進められていくとみられます。

過去を振り返ると、IT業界では、PCなどのハードの成熟化と共に、それを「活用」するソフト関連企業が急成長し、成長の軸足が「ハード」から「ソフト」にシフトしました。今後、自動運転技術の進歩などを背景に、移動・輸送関連業界でも同様の変化が予想され、移動・輸送手段の「活用」に資するMaaS関連企業の飛躍的な成長、業績拡大が期待されます。足元のハイテク株は、これまでの上昇が大きかったことなどから冴えないパフォーマンスとなっていますが、テクノロジーやイノベーションは経済成長に欠かせない要素です。自動運転などの技術開発と企業の動きが本格化してきた今、高い成長性を有した中長期での資産運用にかなう投資アイデアとして、MaaSに注目してみてもいいのではないでしょうか。

ここ半年の間に、大型の企業提携など MaaS関連のニュースが次々と報じられる

ご参考:IT業界ではハード市場の成熟と 共にソフト関連株式が急成長

【米株式市場でのIT業界における時価総額の2時点比較】



各種報道など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。